

自動3Dデータ評価の見方

再描画
アイコンをクリックすると、3Dモデルを再描画します。
※ブラウザの再読み込みを実施すると、自動見積り・自動3Dデータ評価を再実行し、待ち時間が発生します。

評価拡大表示
アイコンをクリックすると、その評価箇所を拡大表示します。

断面カットスライドバー
スライドバーで軸方向の断面を表示します。スライドバー横の数値を直接入力することも可能です。

ワイヤーフレームの有無
ワイヤーフレームの有無の選択が可能です。ワイヤーフレーム有により形状の輪郭線の有無を切り替え可能です。

メッセージ表示
アップロードデータに対する評価結果を表示します。メッセージ表示部をクリックすると、メッセージの表示 / 非表示が切り替わります。

造形再現率
3Dデータ評価に基づき、3Dプリントを実施した場合の造形品の形状再現率を表現します。面が閉じていない3Dデータなど、3Dプリントができないデータに対しては、造形再現率を0(ゼロ)%と表示します。

非表示
ツールボックスの表示 / 非表示を切り替えます。デフォルト設定は表示です。

透明度の調節
モデル形状の透過度を調節することが出来ます。初期値は0.8になっております。

自動3Dデータ評価の結果を確認する
- 形状が埋まり再現できない箇所があります。「青色箇所(隙間が0.8mm以下の溝や掘り込み形状)」
- 形状が欠損する箇所があります。「赤色箇所(肉厚0.8mm以下で薄すぎる形状)」

座標軸 XYZ
材料が中に残る箇所
肉厚で再現不可箇所
溝が狭く埋まる箇所
再描画

マウスの中ボタンで回転中心を変更できます。

ツールバーを表示する
断面X: 25.5009
断面Y: 25.5009
断面Z: 20.0002
断面ワイヤーフレーム
表示設定
透過具合の調節: 0.79009

造形再現率
68%

SOLIZE

問題のある箇所は3Dデータに赤、青、ピンクの色付けを行います。

- 3Dモデルの肉厚が薄く（0.8mm以下）、3Dプリンターで再現できない/難しく、形状が欠損する箇所を赤色で示します。
- 3Dモデルの溝や掘り込み形状（隙間が0.8mm以下）で再現できない/難しく、埋まってしまう箇所を青色で表示します。
- 固まっていない材料が内部に残ってしまう、出口のない中空構造がある場合、その部分をピンク色で表示します。